



「體小説はかういふものをかういふ風に書くべきであるといふのは、ひどくはれた思想ではあるまいか。僕は僕の夜の思想を以て、小説といふものは何をどんな風に書いても好きなものだといふ断案を下す。」



横溝 権
横溝 権は、明治から大正にかけて活躍した作家で、主に探偵小説を著した。代表作として『横溝 権全集』がある。この全集は、横溝 権の全作品を収めたもので、その中には、『横溝 権全集』という作品もある。この全集は、横溝 権の全作品を収めたもので、その中には、『横溝 権全集』という作品もある。

汝の血を冷かにせよ、汝の血を冷かにせよ、何れの場合なるを問はず、怒は人を服する所以にあらざればなり。



小倉 忠任
小倉 忠任は、明治から大正にかけて活躍した作家で、主に探偵小説を著した。代表作として『小倉 忠任全集』がある。この全集は、小倉 忠任の全作品を収めたもので、その中には、『小倉 忠任全集』という作品もある。この全集は、小倉 忠任の全作品を収めたもので、その中には、『小倉 忠任全集』という作品もある。

「こんな（？）とふふやうなものがなくなつた時代には、畢竟は物をしまふやうな武義は、物に就いていふと、此の小説は用にならぬ。」



横溝 権
横溝 権は、明治から大正にかけて活躍した作家で、主に探偵小説を著した。代表作として『横溝 権全集』がある。この全集は、横溝 権の全作品を収めたもので、その中には、『横溝 権全集』という作品もある。この全集は、横溝 権の全作品を収めたもので、その中には、『横溝 権全集』という作品もある。

「正義感から建ちて、誰かに目をつけたいものを、何かに目をつけたい。正義感から建ちて、誰かに目をつけたいものを、何かに目をつけたい。正義感から建ちて、誰かに目をつけたいものを、何かに目をつけたい。」



横溝 権
横溝 権は、明治から大正にかけて活躍した作家で、主に探偵小説を著した。代表作として『横溝 権全集』がある。この全集は、横溝 権の全作品を収めたもので、その中には、『横溝 権全集』という作品もある。この全集は、横溝 権の全作品を収めたもので、その中には、『横溝 権全集』という作品もある。